

質疑・討論

□平成30年第4回定例会

(議案第91号)

債権管理課を新設する
条例改正

企業会計の統合は

問 久武議員

1年間時間をかけて準備をしたと聞く。課の新設による費用対効果は。

答 池田町長

住民の生活再建に重きを置いた今回の課の新設である。

問 久武議員

水道料金や仁淀病院の医療費を含めなかったのはなぜか。

答 土居総務課長

システムが違うため、すぐに移行が難しい。

問 久武議員

システムが違うというの

は詭弁ではないか。

答 土居総務課長

水道料金の場合、滞納が続くと給水停止措置がある。徴収困難事案については連携していく。

反対討論

池沢議員

機構改革という名のもと総合政策課、債権管理課と毎年課を増設し、人件費を増やし続ける行政手法には、反対だ。さらに、町行政にとって今設置する必要な課の優先順位が、危機管理室よりも債権管理課の方が上である、という町長答弁には納得できない。

平成31年度正職員を4人も増員し、1人を債権管理課へ、もう1人を危機管理室へ配置する。あと2人は今後考ええるとの町長答弁があった。不足するところがあったの採用ではないのか。「人ありきの採用か」な

どと町民から疑念を持たれないようにすべきだ。職員の定員管理計画を立てるべきだ。

行政運営に対する間違った基本姿勢のもとでの機構改革には反対だ。

賛成討論

山岡議員

従来より指摘されてきた機械的滞納整理から、福祉の視点も持った生活再建型滞納整理に大きくカジを切るもので、より良い機構改革と受け止める。

各種税滞納からは厳しい生活を余儀なくされて、やむなく滞納に至るケースも多く見受けられる。

このような経済的に困難な状況に置かれている住民の生活実態に寄り添い、徴収するだけでなく滞納者の生活再建に行政組織が横断的に対応する機構改革であり、まさに

住民に寄り添った温かな町政を実践するものである。

(議案第100号)

平成30年度一般会計補
正予算

素早い対応を

問 市川議員

農道川原田上線は災害で全面通行止めとなっており。迂回路があるとのこと。迂回路の除去はしていないが、災害査定はいつ受けるのか。

答 門脇吾北総合支所長

平成30年12月10日に現地査定。

八代農村広場プール
補修工事

問 井上(敏)議員

八代農村広場の付帯設備での地区要望は、水源地からの配管や継手部分、プールの剥離補修などであった

が、今回の予算に配管部分は含まれていないが大丈夫か。

また、要望から2か月間も区長に経過報告がなかったことは残念である。

答 森田産業経済課長

今回は、バルブの交換とプール内の表面塗装が剥離しているため補修工事を行う。また、配管などに問題があれば順次確認していく。

この付帯設備については、25年以上も経過していたので、他の課との検討に時間を要したため連絡が遅れ申し訳なかった。

今後、要望において長時間を要するときには地区関係者に、経過報告をする。

枝川小学校体育館渡り廊下
安全確保工事

問 井上(敏)議員

枝川小学校の体育館への渡り廊下の底面の鉄筋が露出していたので、長年にわたり雨水が浸透し、腐食膨